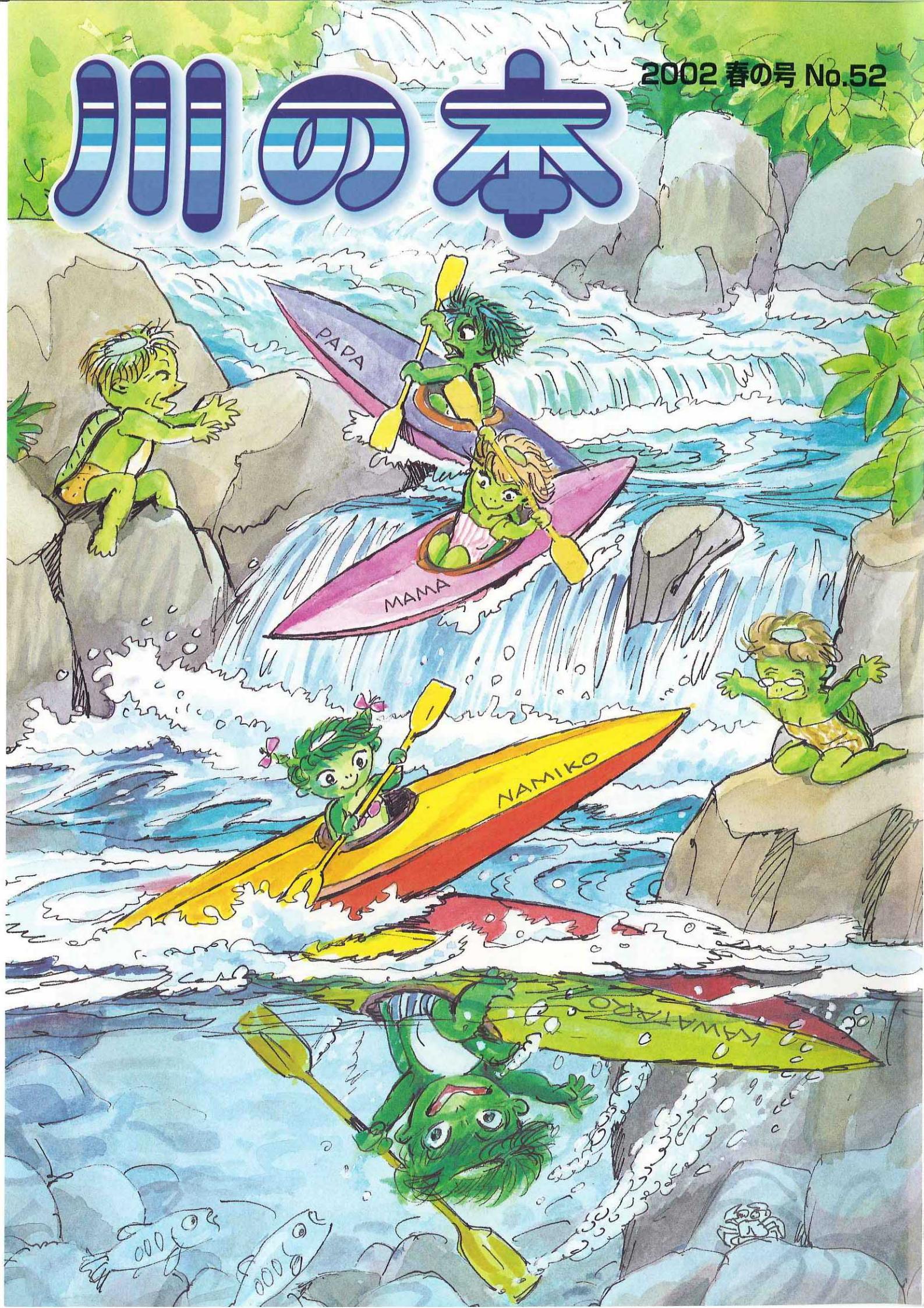
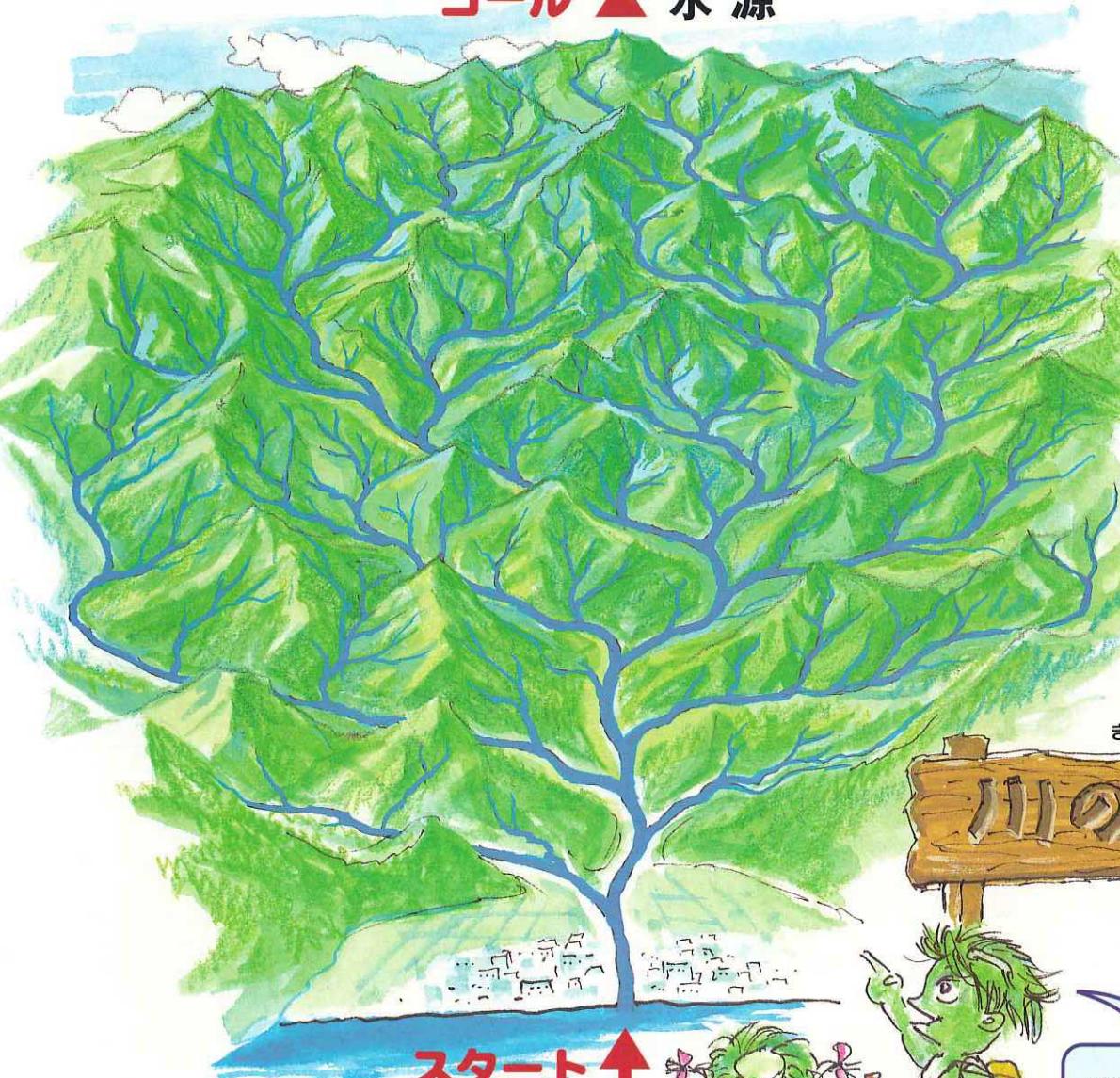


2002 春の号 No.52

# 川の木



ゴール ▲ 水源



今回は水系と流域

苔さがし?



フン!  
きっと迷うな

川の迷路

めいろう

迷わずゴールまで  
行けるかな?  
山にかくれて  
見えない  
ところもあるぞ

スタート ↑

河口

行けるわよ!  
カンタンカンタン  
まかせてよ



ヒント②

くねくねしたからだから何本も  
手や足がでているというが、上の迷路  
にどこか形が似ていると思わないか？

ヒント①

右の絵にごまかされるなよ。  
ヘビでもなければリュウでもないぞ。

なぜなぜ?



長くてくねくねしたカラダから  
何本もの手や足が出ていて  
最後は海へ出て行くものはなんだ？

そうだよ、川のことだよ。しかし、これだけでは正解ではないのだ。

## ヒント③



迷路を見ると海へ出る河口(かじりつ)は一つだが、上流に向って川はいく筋にも分かれている。つまり、いくつもの川が集まってきて最後は一つの川になって海へ出ているね。

このように「一つつながった川の集まりをまとめた呼び方」が正解というわけだよ。

## 答 水系(すいけい)

「流域って、どーかいじりまへなの?」  
流域は葉っぱだとするとよくわかる。  
葉っぱ全体が川の流域にあたる。  
つまり流域とは、その川に雨を集める  
川の流域の区域のことをいいます。  
「集水域」「じゅういき」とも呼ばれる。  
そして、葉っぱのふたにあたる流域と流域の  
さかいめを分水嶺(ぶんすりょう)といいます。  
私たちは必ずどいのかの川の流域に住んでいる。  
自分の住んでるところは、何とこか  
水系の川か調べておくところ。  
さあ、どうしたがり調べられるか考へよう。

葉っぱ全体が川の流域

川

何してんだ?

流域って、  
どーかいじりまへなの?  
葉っぱの「あじ」が川だと呼んで  
葉っぱ全体が川の流域にあたる。

流域は葉っぱだとするとよくわかる。  
葉っぱ全体が川の流域にあたる。

葉っぱの「あじ」が川だと呼んで

つまり流域とは、その川に雨を集める

川の流域の区域のことをいいます。

「集水域」「じゅういき」とも呼ばれる。

そして、葉っぱのふたにあたる流域と流域の

さかいめを分水嶺(ぶんすりょう)といいます。

私たちは必ずどいのかの川の流域に住んでいる。

自分の住んでるところは、何とこか

水系の川か調べておくところ。

さあ、どうしたがり調べられるか考へよう。

- 川の迷路の水源から河口(かじりつ)までは一つだが、上流に向って川はいく筋にも分かれている。つまり、いくつもの川が集まってきて最後は一つの川になって海へ出ているね。
- 川の迷路の水源から河口(かじりつ)までのが「本川(ほんせん)」です。
- 本川に向かつて上流から数おおぐ集まつてすべての川は「支川(しせん)」です。
- 本川・支川の全部をまとめて「水系」といいます。

くにしぶち

# 國主淵

和歌山県 紀の川水系

貴志川

きのかわ

きしがわ

むかし、紀の川すじでな、そりや長い長い日でりが  
続いたときのことや。紀の川に流れこむ貴志川  
もからからに干(ひ)あがつての、もう水は

國主淵のところにしかなくなつてしまもたんやで。  
そいでも川ぞいの村人らは

「國主淵の水は底からぐうりでもわくさかい心配ない」ちゅうて  
毎日せつせと水をくみにきよつたが、その内だんだんと心配に  
なりだした。それといふのもの年にかぎつてな、水がわいて  
こんのや。

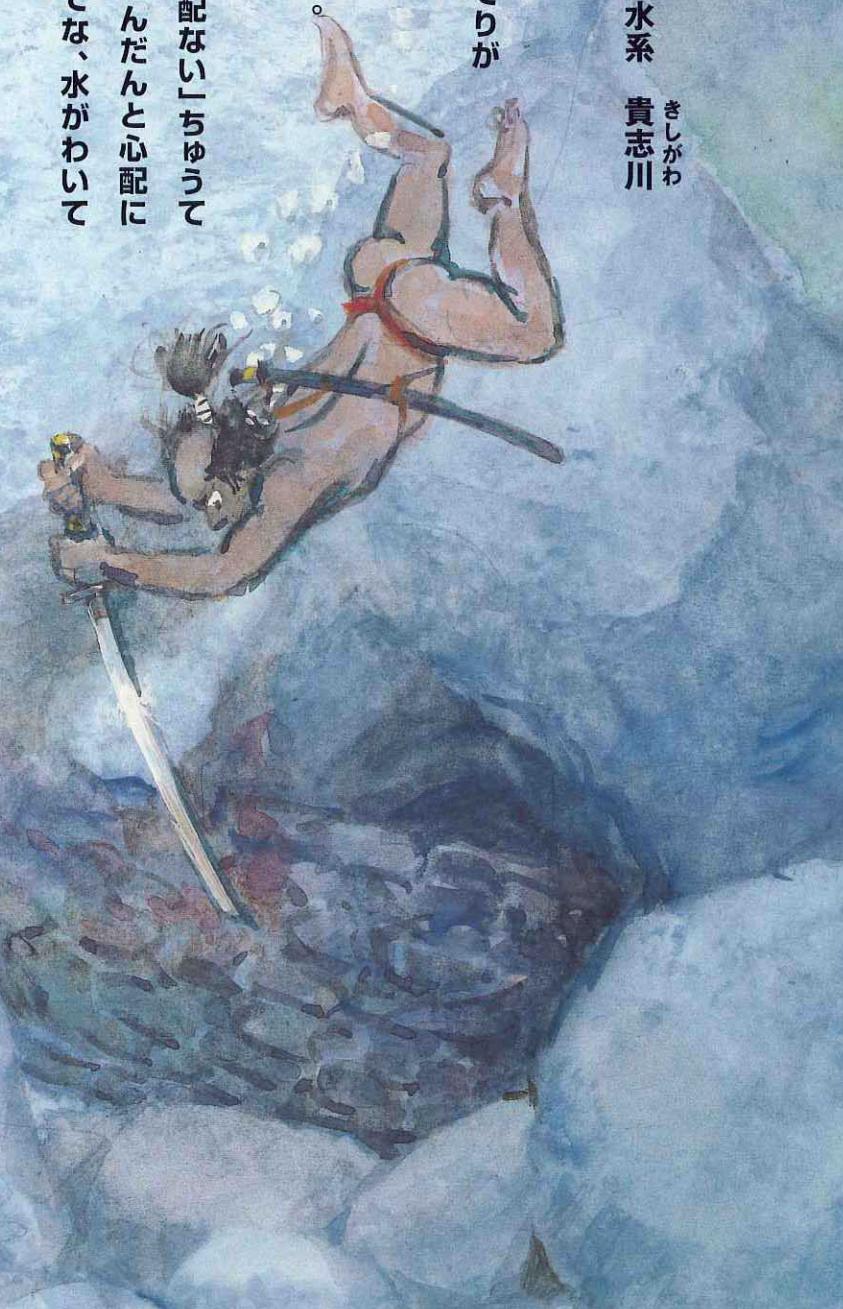
「えらじこつちやで、これまで一度もかれたことない淵の水が減つ  
てきどるがな、これじゃなんば國主淵でも、今にかれてしまう  
でえ」

「このままでは水がなくなつて田んぼどころか、へりじてゆく  
じともでけへんで」

なんとかせなあかんと貴志川ぞいの十四の村の庄屋があつ  
まつて、雨どいの祈りをすることになつたんや。それもわざわざ  
高野山(こうやさん)のお寺から火なわをいただきてきてな、  
村々の人らが総出(そうしゆ)で雨どいをしたんや。しかしこう  
うに雨が降りだす気配(けはい)もない。困りはてていたといつ  
「おうさんでえ」

に変なうわさが伝わってきたんや。  
「國主淵の底には竜宮(りゅうぐう)までとびく大きな深い穴が  
あつてな、水はそこからわきだしてるんやが、穴の入口をなん  
ぞがふさいどるうじでえ」

「なんや、そんなことかいな、そんならふさいどるもんをどかし  
たらすむ」とや  
「ほんなら、おまえがどかしに淵にもぐつてくれるんか」  
「そりやあかん、あんなおそろしげなところに、もぐれるやつな  
どおうさんでえ」



「そや、ええ」と思ひついた、土地のおさむらいにたのんでみたらじうかじの

というわけで桜井刑部（さくらじぎょうぶ）という村で一番強いおさむらいが選ばれたんや。そこで刑部は、自分が仕える橋本家のおやかたさまが貸してくれた国次（くにつぎ）という名刀を、せなかにしばりつけ國主淵へ出かけていったんや。

さすが刑部、さきよりよく淵にざんぶと飛びこんで底へ底へともぐつていったがな。そしたら暗くてはつきりわからんけどな、うわさじおり淵の底に大きな穴があつてな、なんやしらんが太い松の根みたいなものが、穴のなかに入つてふさいどつたんやて。刑部はそれを両手で、なんとか引っぱり出そうとしたけどびくともせえへんのや。しかたないからこんどは刀をぬいてふすつとつきたててみたんやと、ほいたら松の根がずるつと動いたと思つたらくねるようにして穴からぬけ出てきよつた。なんとそれは竜やつた。

竜はすごい顔をして刑部にむかつて來たんやて。さすがの刑部もびっくりしたが負けるわけにはいかない。必死になつて竜に切りつけていたんやて。竜のからだからは血がふきだし淵の底が見えないようになつたときや、にじつた水は大きな渦（うず）まきになつてな、ぱりぱりっと稻妻（いなずま）が光つたと思うまもなく、竜は天高くかけ登り黒い雲のなかに消えていつた。ほいたら黒い雲からは大粒の雨が降りだしたんや。おまけに淵の底から美しい水がどんどんわきだしてきて見るまに

いつぱいになつてな、貴志川も流れ始めたちゅうこつけや。

そのときもう一つ不思議（ふしぎ）なことがあつてな、刑部が岸に上がるうとしたとき、能（のう）のお面がぶかぶかとたくさん浮かんできて刑部を見るんやて。刑部はその内の3つのお面だけ持ち帰つたそや。その後、日ぞりが続いたとき、刑部が拾いあげたお面をつけて雨だじしたら必ず雨がふってきたんやと。

竜も一度と國主淵にもどる」ともなくなつたので、じんなに日ぞりが続いても淵の水がかれることがなくなつたんやそやな。

### 紀の川と貴志川



このお話は、和歌山県那賀郡（ながぐん）の貴志川町に伝わる民話を再話したもので、今から四百年ほどむかし文禄とよばれる時代に大かんばつといつて、口でりづきで、お米がほとんどそれなかつたことがあり、その時的话しだといわれています。この地域の人々は今でも貴志川の水にたよっています。ましてダムなどで水を貯えることができなかつた時代では、川の水がかかるるといつことは命にかかるる大問題でした。和歌山県の代表的な川に紀の川がありますが、貴志川はその支川のひとつです。貴志川の全長は約45キロメートルです。貴志川町にある「きじべの里公園」は國主淵の近くにあります。六月初旬ゲンジボタルの幻想的（げんそうてき）な世界がくりひろげられます。

# 春の川辺

スプリング ハズ カム

それ何のこと?

春がやって来たってこと

そしたらどうなるの?

春風さんが吹く

春風さんが吹くとどうなるの?

雪がとけ氷がとけて川になる

それで?

川は元気に流れだす

それだけなの?

いや、川辺の草花も咲きはじめる

そしたらどうなるの?

ちよびちよびが舞いミツバチがいそがしくなる

それで?

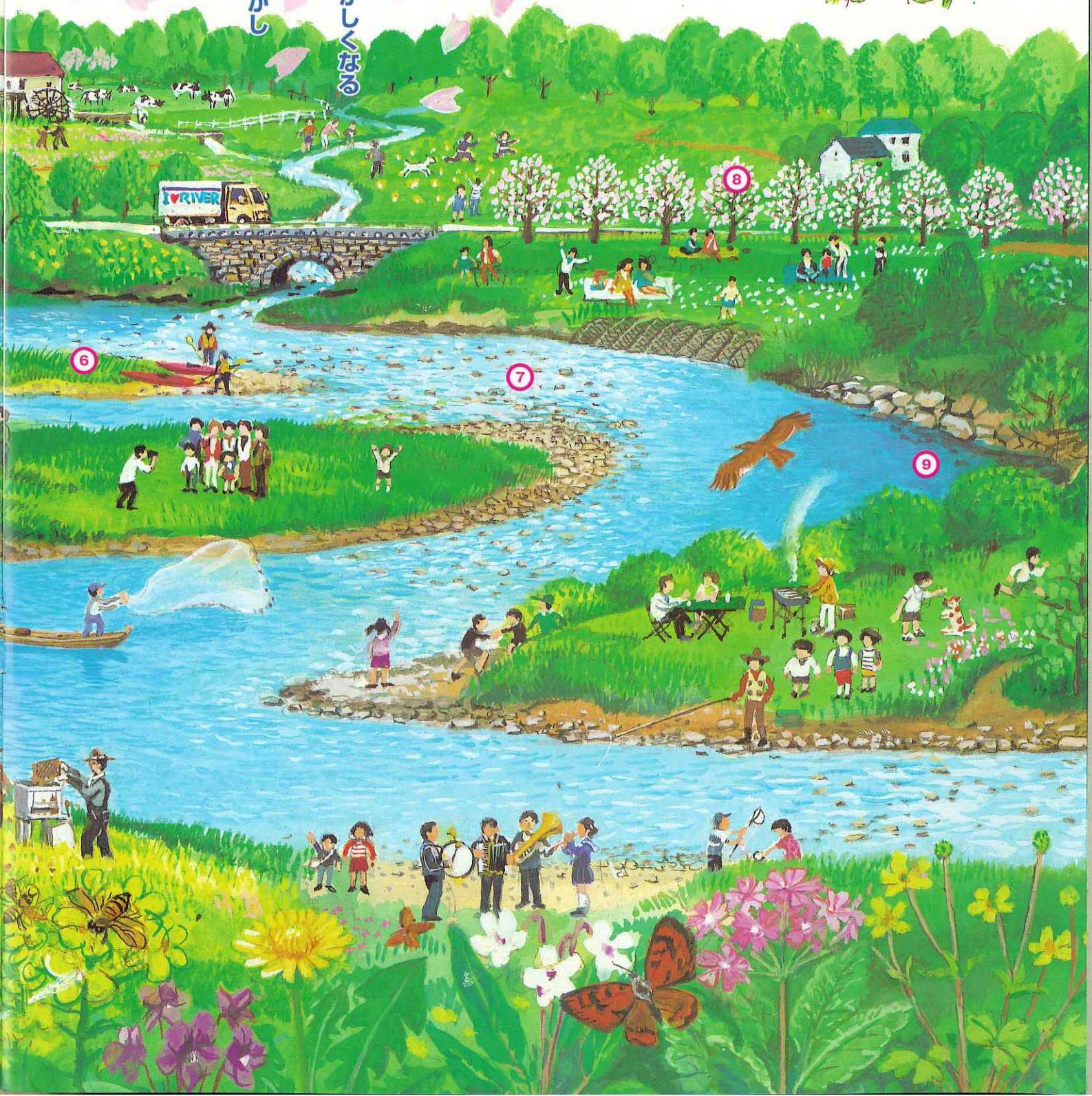
ハチミツを食べられるってわけだよ

そしたらどうなるの?

ハチミツを食べられるってわけだよ

それからどうなるの?

ああ、もう、あとは絵を見て考えてよ



(君なりむつと上手に答えられるかな)

春の川辺へでかけよう  
楽しいこといっぱいみつかるよ。



絵の中の●印に、  
あてはまるものを  
左の中から見つけ  
てください。

これなんだ？



### 魚道(ぎよどう)

川には堰(せき)などで、段差(だんさ)がつけられたところがある。そんなところでも、魚が自由に行き来できるようにつくられた魚せきができる。つくりられた魚せきの通り道のことで、いろいろな形のものがある。写真のものは段差全体が階段のような魚道になっている。

9 7 8 6 4 5 2 3 1 答

# 川の仲間たち

## 上流のきれいな水辺が大好きなカワガラス (すずめ目カワガラス科)

水中にもぐって川底をのこのこ歩く鳥がいる。

川底の石の間にいる水生昆虫やカニ、小魚などのエサを捕るためだ。

もちろん飛ぶのもうまいし泳ぐのも得意だ。

カワセミという鳥も水中にざぶんと飛び込んで魚を捕ったりするが  
川底を歩いたりはできない。

カワガラスといつてもカラスの仲間ではない。

上流の美しい水が好きで滝の裏側など

シブキのかかるところに巣をつくりすんでいる。

●全長は21~23センチくらい

●日本全国に分布する留鳥（りゅうちょう）

●群れをつくらず「なわばり」をもつ



お詫びと訂正：川の本No.51号、川のマメ知識のコーナーで、オオサンショウウオ（国指定天然記念物）とありましたが、  
正しくはオオサンショウウオ（国指定特別天然記念物）です。お詫びして訂正いたします。